

終了しました。ありがとうございました。

大学院特別講義

【覚生塾】2025 年度 セミナープログラム

研究推進に必要なことを「知る・考える・実践する」ために

第一回 3年後の大型研究費獲得に向けて

今年度、覚生塾では、みなさんが、自分の研究を進めてゆくにあたり必要なことを「知って、考えて、実践する」ことを目的にセミナーを開催します。

今回は『3年後の大型研究費獲得に向けて』と題して、京都府の関係各位のご協力による講演と薬事ミニ相談会も併せて実施します。

アカデミア研究者にとって、科研費だけではなく、AMED や JST、NEDO 等の科研費の次のファンド獲得は必須の選択肢となっています。本学発の研究を推進し、将来の新規技術を目指し、実用化する際に立ちはだかる難関・障壁を乗り越えていくための準備や研究費の獲得に向けた「学び」と薬事に関する課題・疑問等について「相談」できる貴重な機会です。

本セミナーでは、大型研究費の獲得は困難か？と考える研究者が、どうすれば研究費が獲得できるか、規制対応はどうすればいいのか等について、具体的な取り組み事例のお話をいただきながら研究者の「もやもや解決のきっかけ」になることを目指します。

【開催概要】

日 時：2025 年 6 月 5 日（木）第一部 17:30～18:30 ※17 時開場

第二部 19:00～20:00 軽食付

場 所：京都府立医科大学図書館 ラーニングコモンズ Koto Square（コトスクエア）

定 員：学内研究者・大学院生・学部生 先着 100 名（事前申し込み制 締切：5/28(水)）

参 加 費：無料

【プログラム】（予定）

●第1部 開会挨拶 八木田 和弘 京都府立医科大学 副学長

Opening remark 飯野 直子 京都府立医科大学 学長補佐 特任教授

特別講義1 京都府の医療圏ごとの医療課題について

奥田 司 京都府保健医療対策監

特別講義2 京都府薬事支援センター

（医薬品・医療機器等の規制に関する相談を受付）の活動について

中川 拓也 京都府健康福祉部薬務課 参事

（京都府薬事支援センター 副センター長）

講義 3年後に大型研究費の獲得するために

柳生 茂希 株式会社 A-SEEDS 代表取締役

（京都府立医科大学 小児科学 講師）

質疑応答

休憩 軽食引き換え （参加者全員に配布します。）

※薬事相談予約者は別途場所を用意致します。

●第2部 (軽食をとりながら) 会場からも自由質問を受けます。

ケーススタディとフリーディスカッション

高岡 裕美 大阪大学 特任教授

柳生 茂希 京都府立医科大学・(株)A-SEEDS

ファシリテーター

飯野 直子 京都府立医科大学

閉会挨拶 的場 聖明 京都府立医科大学 副学長

参加方法：対面のみ

※お申し込みはこちら：[google forms](https://forms.gle/PgTDFf4rY377m3Ni8) [https://forms.gle/PgTDFf4rY377m3Ni8]



申込締切：5/28(水)

主催：研究支援課・K-MICS 覚生塾

問合わせ先：研究支援課・K-MICS 事務局

TEL：075-251-5168 mail:k-mics@koto.kpu-m.ac.jp

【ご講演者プロフィール】

・奥田 司 京都府保健医療対策監（京都府立医科大学 名誉教授・特任教授）

1982 年京都府立医科大学卒業。医学博士 血液内科専門医。1991 年米国セントジュード小児病院に研究留学。1996 年帰任後は社会医学に所属、2007 年分子生化学教授。生化学・分子生物学教育を担当しつつ、主としてマウスモデルを用いた白血病発症機構解析や研究指導に取り組んだ。医師少数地域（福井）や医療激戦区（大阪）での臨床実務経験をもち、同時に、副学長や研究部長として大学運営に携わる経験も重ねてきた。

2023 年退職後 京都府保健医療対策監に就任。保健医療計画策定、医療資源の育成・確保、そして災害時保健活動など、京都府における保健医療福祉行政の遂行・支援に携わっている。

・中川 拓也 京都府薬事支援センター 副センター長（京都府健康福祉部薬務課 参事）

平成 10 年 京都府入庁。主に薬事行政や新型コロナなどの感染症対策等に従事。

令和 5 年度から京都府薬事支援センター 副センター長として、京都府内の医薬品、医療機器等の事業者育成や相談に加え、大学発シーズ等の製品化（特に医療機器）における薬事・保険関係の課題について開発初期から助言等を行う支援に携わっている。